ちょこっと 歴史人紹介コーナー

オリジナル小説にも登場していた方を含む
6名の歴史人をご紹介します！

紫式部（973頃～1014頃）
平安時代の歌人・女流作家で、日本最初の長編小説『源氏物語』の作者です。紫式部の「式部」は父の式部丞という役職からで、「紫」は源氏物語が発表された後に登場人物の紫の上にちなんで呼ばれるようになった名前です。文学的才能は父親譲りで、当時、男性が学ぶ漢学にも精通していたそうです。

PN:すみ・maia

中原中也（1907～1937）
山口県出身の詩人。代表作は「サーカス」「汚れつちまった悲しみに…」。中学2年生の国語の教科書に載っている「月夜の浜辺」の作者でもあります。
医者の家に生まれますが、17歳ですさんだ生活を送り、詩作活動へ。長男・文也の死が影響し、若くして亡くなりました。
初対面相手に喧嘩腰でからむことがよくあり、初対面でからみにいった太宰治には辟易とされていた。詩人の天才であると同時に、悪口の天才でもあった中原中也は、喧嘩して仲良くなった坂口安吾には「キサマはドイツのヘゲモニーだ」と言ったそうです。

PN:月光

徳川家康（1543～1616）
関ヶ原の戦いを勝利して天下統一を果たし、江戸幕府を開いたことで有名な徳川家康。しぶとく我慢強いイメージですが、実は短気な一面もあったそうです。また、そんな家康は幼い頃、一度織田家へ人質として送られているのですが、その期間に織田信長と出会っていたとのことです。

PN:知多ゴリラ

織田信長（1534～1582）
1534年5月13日尾張国那古野で「織田信秀」の三男として生まれました。
性格は、我慢強く、行動的でありながら、超がつくほどの慎重派だったと言われています。
1560年に「桶狭間の戦い」で今川義元を倒し、その後三河国の徳川家康と同盟を結びました。
1582年、本能寺の変で、寺に火を放ち、自害しました。

PN:728・かんのあにき

夏目漱石（1867～1916）
本名、夏目金之助。学生時代から学業優秀で、英文学を専攻し、イギリス留学も経験。作家期間は10年足らずにも関わらず、あの名作の数々。親友は正岡子規、弟子には芥川龍之介など。胃弱でありながら甘党で、性格は癇癪持ち。周りに当たり散らすこともあったとか。その一方で、門下生には「木曜会」として自宅を開放したり、しきりに手紙のやり取りをして、助言・励ましをする暖かい人柄だったそうです。

PN: maia

【参考】
『汚れっちまった悲しみに…中原中也詩集』 著者:中原中也　出版社:KADOKAWA（角川文庫）『日本の歴史人物事典』 監修:川口素生　出版社:成美堂出版
『ほろ酔い天国』 著者:青木　正児　ほか　出版社:河出書房新社 『文豪たちの悪口本』 編集:彩図社文芸部　出版社:彩図社
『戦国大名』 監修:五味　文彦　出版社:山川出版社 『それは誤解だ戦国武将！』 編著者:加来　耕三　著者:嶋　健一郎　出版社:メディアファクトリー
『戦国武将三英傑大図鑑　織田信長の戦い』 監修:本郷　和人　編集:グラフィオ　出版社:金の星社
『斎藤孝の天才伝5 夏目漱石』 著者:斎藤孝　出版社:大和書房 『紫式部と平安貴族』 文:藤森陽子　出版社:フレーベル館

発行
YAサポーターズ
知多市立中央図書館

知多市岡田字宝ノ脇22番地
Tel(0562)55-4349
Fax(0562)55-2379

[HP] https://www.lib.city.chita.aichi.jp
[Twitter] 知多市立中央図書館
@chita_library

twitter　HP　Instagram

第26号
2022年12月20日
発行

司書たま

今回の司書たまは…歴史特集！！

オリジナルのタイムトラベル小説（前編）も掲載！なんと主人公は…猫!?

イラスト：すみ（右）、728（中）、知多ゴリラ（左上）、月光（左下）

本でタイムスリップ

『かわいい古代』
著者:譽田　亜紀子
出版社:カルチュア・
コンビニエンス・クラブ
株式会社光村推古
書院書籍編集部

かわいい！！いろんな遺跡の古代の土器が見られます。縄文、弥生、古墳時代で分かれていて、それぞれの土器や道具でそのころの暮らしなども分かります。個人的には古墳時代が見た目も丸い物や動物の形でかわいいのでオススメです。遺跡や時代も載っているので勉強にも使えます！！

PN:すみ

『紫式部の娘。
賢子がまいる！』
作者:篠　綾子
出版社:ほるぷ出版

紫式部の娘、賢子が宮中で繰り広げる恋、事件の物語。賢子は母の紫式部と違い負けず嫌いで陽気な性格の十四歳。宮中で出会った藤原道長の子、頼宗に恋をして…。恋多き賢子のライバル小式部や賢子のいじめの中心人物である良子など個性豊かな人たちがでてきて面白いです。

PN:すみ

『武士のメシ』
著者:永山　久夫
出版社:宝島社

誰もが知っている織田信長などの武士。彼らのような武士たちが活躍していた戦国時代、ひとつの武器でもあったのが「食」。豊臣秀吉を始め、高山右近ら十九武士がかつて愛した「食」がぎゅっとつまったこの一冊。ぜひ、一度お手に取ってみてはいかがでしょうか。

PN:728

『新選組戦記　上』
作者:小前　亮
出版社:小峰書店

試衛館の面々は、浪士組に入り京へと向かう。その後、「新選組」の名を与えられ、京を守るために活躍していく！幕末に生きた新選組の物語。波乱万丈の彼等の生き様をとくとご覧ください。

PN:月光

『大正ロマン手帖』
編者:石川　桂子
出版社:河出書房新社

乙女の憧れ！！大正のモダンでおしゃれな服や雑誌等が載っています。昔のおしゃれな髪形や服、柄、や色までそろっています。また、和から洋への移り変わりの時代の変化も感じられます。絵や美術系に興味のある人におすすめです。

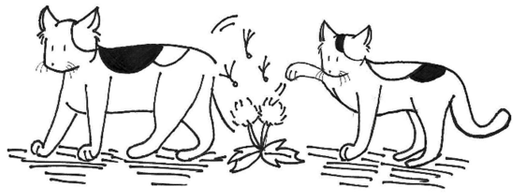
PN:すみ

『文豪たちの友情』
著者:石井　千湖
出版社:立東舎

明治～昭和にかけて活躍した文豪たち。彼等の友情関係はとても濃いものでした。大親友、死による早い別れ、ケンカするほどの仲良し…。「友だち」としての文豪たちの姿をぜひ本書で垣間見てみませんか？

PN:月光

時をかける子猫
～ TOKI WO KAKERU KONEKO ～



PN:すみ

1

ある日、僕はお母さんと散歩に出かけた。しばらく雨が降っていたから、久しぶりの散歩。嬉しくて、朝からはしゃぎっぱなし。ぽかぽかして気持ちいい。…あれ？タンポポの綿毛があった。初めてみた！
「ミケ？」
お母さんの声。僕は綿毛に夢中になって、空返事をした。向こうにも綿毛がある。
「ミケ？どこに行くの？」
僕は走って綿毛をたどる。お母さんの声が遠くなるように感じた。そして一。
一あれ？暗い森の中。ここは…？
「お母さん？お母さん！？」
どうしよう、迷子になった！？パニックになって、僕はまた走る。しばらくして、ふっと周りが明るくなった。
「湖…？」
今まで来たこともない場所。そこが輝いているように見えた。
「…お母、さん？」
水面に映るお母さん…。
急に寂しくなって、泣きそうになった。
「お母さぁんっ！！」
僕は湖に飛び込んだ。

PN:月光・すみ

2

「どこだろう、ここ」
目が覚めると和室に居た。耳を澄ますと微かに人の声がした。
「行ってみよう」
僕は少し開いた襖を抜けると紙が大量に散らかっていた。そこには女の人が呟きながら何か書いている。
「偉そうな顔しやがって…」
女の人って怖いな、早くここから出よう。
ガタンッ
「アンタ、部屋片づけなさい！紫式部として恥ずかしくないの！？」
「ゲッ」
僕は驚いて走り出した。僕は勢い余って庭の池に落ちてしまった。

PN:すみ

3

水から顔を上げると、そこはどこかの人のお庭の池だった。さっきまで森にいたのに…。
「だれだ！」
人の声がする！髭を生やした男の人だ。
「なんだ、おぬし？びちょびちょではないか」
男の人は手ぬぐいで、僕の体を拭いてくれた。僕がありがとうと鳴くと、嬉しそうに笑った。やさしい人なんだ。…顔はちょっと怖いけど。
「お腹はすいておらんか？ちょっとまっておれ」
男の人が家の中に入っていく。ついていくと、家の前に大きな水たまりがあって、そこにお母さんがいた！僕はお母さんの元に走っていった。
一ポチャン。

「待たせたな。…おや、あの猫、どこにいったんだ？へんな猫だったの。」
織田信長は首を傾げた。

PN:728・かんのあにき

4

次に僕が顔を出したのは…。お風呂場？
着物をはおる男の人が、僕を見ている。僕ははっとして固まった。
「こっちおいで」
急に家に現れて追い出されるかと思った。男の人は優しい目をしている。僕が男の人のひざにすわると、背中をなでてくれた。その手に触れて、僕はお母さんの優しい目を思い出した。
しばらくして、男の人は誰かに呼ばれたらしく、どこかに行ってしまった。僕はうろうろとして、他の部屋に行く。机の上に上ると、隣に合った大きな壺の中が見えた。その中には一。
「お母さん！！」
僕は壺の中に飛び込んだ。

男性はポチャンという音を聞いた。用をすませて音のした方へ行くと、水の入った壺があった。
「先刻の猫かな…？」
中には水のみ。男性一夏目漱石は何かを思いついたように手をポンと打ち、そして微笑んだ。

PN:月光

第27号 へ続く…